

アジア史専攻 2016 年度卒論中間報告会のお知らせ

2016.11.2 アジア史研究室

下記の要領で、毎年恒例のアジア史専攻卒論中間報告会をおこないます。各ゼミから1名ずつ卒論の概要について発表するので、4年生はもちろん、3年生も原則として全員出席し、今後の参考にしてください。他専攻の方の来聴、1・2年生の出席も歓迎します。

記

日時：2016年11月14日（月） 9：00～10：30

会場：駿河台キャンパス 研究棟4階 第1会議室

※ リバティタワー3階からブリッジを渡って正面

プログラム

卒論執筆要項(最終版)説明

卒論中間報告

1. 工藤信義：「人身売買」から見る秦漢時代の下層身分(仮)
2. 橋本宏周：イラン=イスラム共和国の政治体制—存在論的考察を通して—(仮)
3. 小原遙：朝鮮王朝後期における実学思想発生の背景と影響(仮)
4. 建部良平：梁啓超の農業思想—農業の振興・保護を中心として—
5. 清水ちひろ：「東方」のユダヤ人と「文明化の使命」
—万国イスラエル協会の活動を中心に—(仮)

報告者持ち時間は、**発表 12 分＋質疑応答 3 分**の計 15 分（時間厳守）。レジュメは報告者が各自 90 部を用意すること（教材用印刷機も使えるので、準備については指導教員と相談すること）。パワーポイントを使用する場合は、事前に知らせてください。

以上